

○ 論点第2 の2 より良い制度に向けた方策に対する道の考え方

・ 国際労働市場の実態及びメカニズムを踏まえた送出機関や送出しの在り方（入国前の借金の負担軽減策、MOCの更なる強化策を含む）

- ・ 技能実習生が来日前にした借金（母国の送出機関や仲介者に支払った費用）の返済に追われ、さまざまな問題に繋がっている可能性があることから、国として、入国にあたっての費用負担など、手続きの透明性確保について、相手国との調整が必要ではないか。

○ 論点第2 の3 日本語能力の向上に向けた取組に対する道の考え方

・ 外国人の日本語能力の向上に向けた取組（コスト負担の在り方を含む）

- ・ 道独自のヒアリングでは、外国人労働者の適正な就労に向けた課題に「日本語能力の充実」を挙げる事業所も多い。意欲ある技能実習生の日本語習得機会の確保はもとより、日々の日本語コミュニケーション量が日本語の習得と関係性が高いことから、地域や受入事業所が行う技能実習生や特定技能外国人のコミュニケーション力向上のための担当スタッフの配置への支援などにより、日本語能力とコミュニケーション能力の向上を図ることが必要ではないか。
- ・ また、自治体における日本語能力向上の取組の観点では、在住外国人が広域分散して居住しており、オンライン学習の充実の重要性が増しているなど、自治体ごとに抱える課題が違ふことから、各自治体が地域実情に合わせた日本語教育の体制整備を行うことができるよう、引き続き、国の財政支援、人材確保・育成、日本語教育に関するノウハウの提供など支援の継続と拡充をしていただくことが必要ではないか。